PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

11-220418

(43)Date of publication of application: 10.08.1999

(51)Int.CI.

H04B 1/38 H01Q

H01Q

H01Q

H01Q

(21)Application number: 10-019549

(71)Applicant: SONY CORP

(22)Date of filing:

30.01.1998

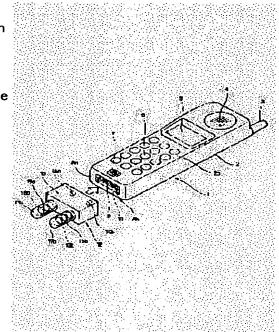
(72)Inventor: KANAYAMA YOSHITAKA

(54) EXTERNAL ANTENNA SYSTEM FOR PORTABLE TELEPHONE TERMINAL

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To attain stable transmission and reception by suppressing deterioration in the antenna characteristic due to effect of a head of a person especially in the case of making a speech by a portable telephone terminal.

SOLUTION: An external antenna system 12 is mounted on a bottom side of portable telephone terminal 1. The portable telephone terminal 1 has high frequency signal plugs 14a, 14b plugged in high frequency jacks 8a. 8b and antennas 16a, 16b connecting to the high frequency signal plugs 14a, 14b in terms of high frequencies and is structured to be directly mounted on the bottom side of the portable telephone terminal 1.



EGAL STATUS

Date of request for examination]

17.12.2004

Date of sending the examiner's decision of rejection]

Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

Date of final disposal for application]

Patent number]

Date of registration]

Number of appeal against examiner's decision of ejection

Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-220418

(43)公開日 平成11年(1999)8月10日

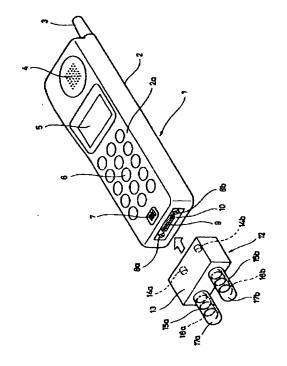
(51) Int.Cl. ⁶		識別記号	FI				
H 0 4 B	1/38		H04B	1/38			
H01Q	1/12			i/12 E			
	1/24			1/24	Z		
	1/36			1/36			
	3/02			3/02			
_			審查請求	未讃求	請求項の数3	OL (金	き 6 頁)
(21)出願番号		特顏平10-19549	(71)出顧人	人 000002185			
					株式会社		
(22)出顧日		平成10年(1998) 1 月30日		東京都品川区北品川6丁目7番35号			号
			(72)発明者	金山(主責		
				東京都區一株式会	別区北島川 6↑ 会社内	「目7番35 日	身 ソニ
			(74)代理人		松限 秀盛		

(54) 【発明の名称】 携帯電話端末用外部アンテナ装置

(57)【要約】

【課題】 携帯電話端末機1で通話する際に、特に人体 頭部の影響によるアンテナ特性の劣化を抑制し、安定し た送受信を可能とする。

【解決手段】 携帯電話端末機1の底面側に、外部アンテナ装置12を装着する。この外部アンテナ装置12は、携帯電話端末機1の高周波信号ジャック8a,8bに接続される高周波信号ブラグ14a,14bと、この高周波信号ブラグ14a,14bと高周波的に接続されているアンテナ16a,16bとを有し、携帯電話端末機1の底面側に直接的に装着される構造とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 天面側にアンテナを有し、底面側に髙周 波信号端子を備えた携帯電話端末に装着される外部アン テナ装置であって、

上記髙周波信号端子に接続される接続端子と、この接続 端子と高周波的に接続されているアンテナとを有し、上 記携帯電話端末の底面側に直接的に装着される構造であ ることを特徴とする携帯電話端末用外部アンテナ装置。

【請求項2】 アンテナの角度を可変する機能を備えた てとを特徴とする請求項1に記載の携帯電話端末用外部 10 によるロスが発生する。さらに携帯電話端末機1を横置 アンテナ装置。

【請求項3】 アンテナを柔軟な素材にて構成したこと を特徴とする請求項1に記載の携帯電話端末用外部アン テナ装置。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、携帯電話端末に装 着される外部アンテナ装置に関する。

[0002]

【従来の技術】先ず、従来の一般的な携帯電話端末機の 20 構成を図5において説明する。この図は携帯電話端末機 を水平に寝かせて置いたいわゆる横置き状態を示してい

【0003】図において1は携帯電話端末機を全体とし て示し、2はその本体で、との携帯電話端末機本体2の 天面(上面)側には送受信用のアンテナ3が突出して設 けられている。またこの携帯電話端末機本体2の前面部 2 a には、天面側から順にスピーカー4、ディスプレイ 部5、キーパッド6、マイクロホン7が配置されてい

【0004】さらにとの携帯電話端末機本体2の底面 (下面) 側には、外部アンテナを接続可能とする髙周波 信号端子としての高周波信号ジャック8a,8bと、情 報機器へのデータ伝送を行なうためのベースパンド信号 端子としてのベースバンド信号ジャック9とが開口部1 0から露出して設けられている。尚、この高周波信号ジ ャック8 a, 8 b とベースバンド信号ジャック9は、通 常の状態では開口部10に嵌め込まれるカバー11によ って覆われているものである。

[0005]

【発明が解決しようとする課題】ところで、この携帯電 話端末機1で通話する場合、スピーカー4を耳に近付け て、かつマイクロホン7を口に近付けるために、図6に 示すような持ち方になるのが一般的である。このとき、 耳とスピーカーの距離と、口とマイクロホンの距離とを 比較すると、耳とスピーカーの距離が短い場合が殆どで ある(一般に、耳にスピーカーを密着させた状態で通話 するのが通常であるため)。

【0006】スピーカー4は携帯電話端末機本体2の上

果的にアンテナ3と人体頭部の距離が短くなり、アンテ ナ3は人体頭部の影響を受けて性能が劣化してしまう。 【0007】また、通話時の携帯電話端末機は垂直状態 から傾けられて使用される場合が多く、その場合、携帯 電話端末機1のアンテナ3からの垂直偏波の放射レベル が低下し、基地局が垂直偏波を使用している場合、偏波 の不整合によりロスが発生する。

【0008】また、待ち受け時などに携帯電話端末機1 を横置きにしている場合も、上記のように偏波の不整合 きしている場所が例えばスチール机などの金属板上であ った場合、アンテナ3の近傍の金属の影響によりアンテ ナ特性が著しく劣化する場合がある。

【0009】本発明は、上記のような問題点を解消して 送受信の効率を改善し、好適な無線環境を提供すること を目的とする。

[0010]

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するた めに本発明は、天面側にアンテナを有し、底面側に高周 波信号端子を備えた携帯電話端末に装着される外部アン テナ装置であって、髙周波信号端子に接続される接続端 子と、この接続端子と高周波的に接続されているアンテ ナとを有し、携帯電話端末の底面側に直接的に装着され る構造の外部アンテナ装置を提供するものである。また この外部アンテナ装置には、アンテナの角度を可変する 機能を備えてもよい。さらにこの外部アンテナ装置で は、アンテナを柔軟な素材で構成してもよい。

【0011】そしてこの発明の外部アンテナ装置を携帯 電話端末の底面側に装着することにより、人体頭部とア 30 ンテナとの距離を大きくとることができるので、人体頭 部の影響によるアンテナ特性の劣化を抑制することが可 能となる。またこの発明の外部アンテナ装置は、携帯電 話端末に直接的に装着される構造であるため、ケーブル の伝送損失の発生を抑制することが可能となる。

【0012】またこの発明では、アンテナの角度を可変 する機能を備えることにより、携帯電話端末を横置きし た場合でもアンテナを垂直に立てることができるので、 垂直偏波レベルが改善される。また携帯電話端末を置い た場所が金属板上だったとしても、アンテナと金属板と 40 の距離を大きくとることができるので、アンテナ特性の 劣化を抑制することが可能となる。

【0013】さらにこの発明では、アンテナを柔軟な素 材にて構成することにより、携帯電話端末で通話する際 にアンテナは自重で常に鉛直方向を向く状態となるの で、携帯電話端末を手に持って傾くことによる偏波の不 整合によるロスを低減することが可能となる。

[0014]

【発明の実施の形態】以下、図面を参照しながら本発明 の実施の形態例について詳細に説明する。図1は本発明 部即ちアンテナ3に近い位置に設けられているため、結 50 の第1の実施形態例であり、ここでは携帯電話端末機を

(3)

水平に寝かせて置いたいわゆる横置き状態を示している。

【0015】図において1は携帯電話端末機を全体として示し、2はその本体で、この携帯電話端末機2の天面(上面)側には送受信用のアンテナ3が突出して設けられている。またこの携帯電話端末機本体2の前面部2aには、天面側から順にスピーカー4、ディスプレイ部5、キーパッド6、マイクロホン7が配置されている。【0016】さらにこの携帯電話端末機本体2の底面(下面)側には、外部アンテナを接続可能とする高周波(下面)側には、外部アンテナを接続可能とする高周波(下面)側には、外部アンテナを接続可能とする高周波(電号端子としての高周波信号ジャック8a,8bと、情報機器へのデータ伝送を行なうためのベースバンド信号端子としてのベースバンド信号ジャック9とが開口部10から露出して設けられている。

【0017】そしてとの携帯電話端末機1に、本発明に よる外部アンテナ装置12が装着される。との外部アン テナ装置12は、外観的には矩形筐状のハウジング13 電話端ま と、このハウジング13の表面に突出して設けられてい る高周波信号用接続端子としての高周波信号ブラグ14 低下が多 a、14b及びアンテナ部15a、15bにより構成さ 20 となる。 れている。

【0018】高周波信号ブラグ14a, 14bとアンテナ部15a, 15bは、ハウジング13の互いに反対側の面に突出して設けられており、ハウジング13の内部において高周波信号プラグ14a, 14bとアンテナ部15a, 15bのアンテナ16a, 16bとが夫々繋がっていて高周波的に接続されている。

【0019】高周波信号プラグ14a、14bは携帯電話端末機1の高周波信号ジャック8a、8bと対応して設けられており、この高周波信号ジャック8a、8bに 30 嵌合する状態で接続されるものである。

【0020】アンテナ部15a、15bのアンテナ16a、16bは、本例においては導電性の線材を螺旋状に巻いたヘルカルアンテナを用いている。またこのアンテナ16a、16bの周囲を夫々キャップ状の樹脂製のアンテナカバー17a、17bで被覆してある。

【0021】アンテナ16a、16bの電気長は、携帯電話端末機1の使用しているシステムの周波数の波長により決定される。またアンテナ16a、16bの入力イ 40ンピーダンスが高周波信号プラグ14a、14bの特性インピーダンスと整合がとれていない場合は、ハウジング13内でアンテナ16a、16bと高周波信号プラグ14a、14bとの間に整合回路を設けて整合をとればよい。

【0022】以上の如く構成される本例の外部アンテナ 装置12は、高周波信号プラグ14a、14bを携帯電 話端末機1の高周波信号ジャック8a、8bに嵌合接続 することにより、携帯電話端末機1の底面側に直接的に 装着される。 【0023】そしてとの外部アンテナ装置12が装着された場合、携帯電話端末機1側では電気的若しくは機械的スイッチングにより、携帯電話端末機1の内部回路と携帯電話端末機1のアンテナ3との電気的接続が切り離されて、内部回路からの高周波信号は外部アンテナ装置

されて、内部回路からの高周波信号は外部アンテナ装置 12のアンテナ16a, 16bに伝送され、とのアンテナ16a, 16bによって送受信が行なわれる。

【0024】このように携帯電話端末機1の底部に装着された外部アンテナ装置12のアンテナ16a、16bによって送受信が行なわれることにより、通話時には人体頭部と外部アンテナ装置12のアンテナ16a、16bとの距離を大きくとれるため、人体頭部の影響によるアンテナ特性の劣化を抑制することができ、安定した送受信が可能となる。

【0025】またこの外部アンテナ装置12は、携帯電話端末機1に直接的に装着される構造であり、即ち携帯電話端末機1と外部アンテナ装置12との間に長いケーブルが存在しないため、ケーブルの伝送損失による利得低下が発生することはなく、より安定した送受信が可能となる。

【0026】さらにこの外部アンテナ装置12は、携帯電話端末機1に直接的に装着でき、しかもコンパクトな形状であるため、外出先などでも簡単に携帯電話端末機1に装着して使用することができて便利である。

【0027】尚、本例で図示したように二つの高周波信号ジャック8a,8bを有するダイバーシティ受信を行なっている携帯電話端末機の場合、一方の高周波信号ジャック8a,8bが送受信を行なうメインのアンテナ16aに接続され、もう一方の高周波信号ジャック8bはダイバーシティ受信のための受信しか行なわないアンテナ16bに接続されるため、二つのアンテナ16aと16bの使用周波数は若干異なる場合がある。

【0028】そのような場合、送受信用と受信専用とで逆にアンテナが接続されることのないよう、外部アンテナ装置12の誤装着防止手段を設ける必要がある。この誤装着防止手段としては、例えば携帯電話端末機1と外部アンテナ装置12の何れか一方側に突起を設け、他方側に上記突起と決まった向きでした係合しない凹部を設けた構造とすればよい。

0 【0029】尚、ダイバーシティ受信を行なっていない 携帯電話端末機の場合、外部アンテナ装置12のアンテナ数は一つでよい。

【0030】また外部アンテナ装置12が携帯電話端末機1から誤って脱落することのないよう、外部アンテナ装置10のロック機構を設けてもよい。このロック機構は、螺子式やバネによる弾性係合方式などの周知の機構を採用することにより、簡単に実施することができる。【0031】また本例の外部アンテナ装置12に、携帯電話端末機1をパソコンやファックスなどの情報機器に50接続するためのスルー用のベースパンド信号ジャックを

設けてもよい。この場合外部アンテナ装置12には、上 記スルー用のベースバンド信号ジャックと共に、携帯電 話端末機1のベースバンド信号ジャック9と嵌合接続さ れるベースパンド信号プラグを設け、両者をハウジング 13内でスルー状態に接続した構造とする。

【0032】図2は本発明による外部アンテナ装置の第 2の実施形態例を示す。本例の外部アンテナ装置 12 は、アンテナ部15a, 15bの角度を可変する機能が 備えられてなるものである。

【0033】即ち本例においては、アンテナ部15a, 15bの根元部分に軸18を設け、この軸18を支点と してハウジング13に対しアンテナ部15a.15bを 回動可能としてある。図2(A)はアンテナ部15a, 15 bと携帯電話端末機との角度が180°になってい る状態、図2(B)はアンテナ部15a、15bと携帯 電話端末機との角度が90°になっている状態を示して いる。

【0034】とこで軸18は螺子軸となっており、この 螺子軸の締め付けトルクを調整することにより、アンテ ナ部15a, 15bを手で操作できる程度に回動可能と する。若しくは、アンテナ部15a. 15bを回動動作 に対する抵抗力のないフリーの状態にしておき、位置決 めストッパーにより例えば90°と180°の位置で固 定可能な機構としてもよい。

【0035】 このようにアンテナ部15a, 15bの角 度を自由に可変できることにより、携帯電話端末機を横 置きにした場合でもアンテナ部15a, 15bを垂直に 立てることが可能となり、携帯電話端末機を単体で横置 きにした場合に比べて垂直偏波レベルが改善される。

【0036】また携帯電話端末機を横置きした場所が金 30 属板上だったとしても、アンテナ部15a, 15bを垂 直に立てることによりアンテナと金属板との距離を大き くとることができるので、携帯電話端末機を単体で金属 板上に横置きした場合よりもアンテナ特性の劣化を抑制 することが可能となり、一段と安定した送受信を行なう ことができる。

【0037】図3は本発明による外部アンテナ装置の第 3の実施形態例を示す。本例の外部アンテナ装置12 は、アンテナ部15a, 15bをペン立てのようにあら ゆる方向に回動可能としたものである。

【0038】即ち本例ではアンテナ部15a, 15bの 根元部分にペン立ての付け根のようなボール部19を形 成し、このボール部19をハウジング13に固定された 保持部材20に嵌め込むことにより、この部分を支点と してアンテナ部 15 a, 15 bがあらゆる方向に回動可 能な構造としてある。

【0039】前述した図2の実施形態例ではアンテナ部 15a, 15bの回動方向は一方向であったのに対し、 本例ではアンテナ部15a, 15bの回動の自由度が大 びアンテナ部の回動機構が破損するおそれが少ない利点

【0040】図4は本発明による外部アンテナ装置の第 4の実施形態例を示す。本例の外部アンテナ装置12 は、アンテナ部15a, 15bのアンテナ16a, 16 b及びアンテナカバー17を柔軟な素材にて構成したも のである。

【0041】 CCでアンテナ16a, 16bは導電性の 線材によりなるモノポールアンテナを用いている。との 10 アンテナ16a, 16bの材質としては、銅線や鉄線な どをより合わせたより線ワイヤーや、ニッケルチタン合 金などの超弾性材料など、柔らかく、多少曲げてもすぐ に復元する材質を用いる。尚、とのアンテナ16a,1 6 b の電気長は、携帯電話端末機の使用しているシステ ムの波長により決定されるものである。

【0042】アンテナカバー17は樹脂製であり、その 硬度を調整して柔軟性を持たせてある。このアンテナカ バー17の材質としては樹脂の他に繊維などを用いても よく、また樹脂と繊維とを複合して用いてもよい。

【0043】本例では、二本のアンテナ16a, 16b を一つのアンテナカバー17で被覆し、また二本のアン テナ16aと16bのアンテナ長の和よりもアンテナカ バー17の長さを長くすることにより、アンテナカバー 17をハンドストラップとして使用可能としている。ま たこのようにアンテナカバー17をハンドストラップと して用いる場合、アンテナカバー17はこれを手にかけ てもアンテナ16a、16bが手にかからない程度(即 ち手の周囲長よりも長い)の長さとすることが望まし じっ。

【0044】以上の如く構成される本例の外部アンテナ 装置12は、アンテナ部15a, 15bが柔軟性を有す るために、携帯電話端末機の底面側に装着された状態で アンテナ部15a, 15bは自重によって常に鉛直方向 を向き、垂直偏波を放射する。これにより、携帯電話端 末機を手に持って傾いた状態で使用されることによる偏 波の不整合によるロスを低減することが可能となり、安 定した送受信が行なわれる。

【0045】以上、本発明の実施の形態例について説明 したが、本発明はこれらの例に限定されるものではな 40 い。例えば、携帯電話端末機1の高周波信号ジャック8 a, 8bと外部アンテナ装置12の髙周波信号プラグ1 4a、14bとの関係は逆でも問題ない。またアンテナ 16a、16bの形状や電気長は問わない。さらにその 他各部の構成においても上記の例に限ることなく種々の 変化変更が可能であることは言うまでもない。

[0046]

【発明の効果】本発明の請求項1に係る発明は、この発 明の外部アンテナ装置を携帯電話端末の底面側に装着す ることにより、人体頭部とアンテナとの距離を大きくと きいため、落下などによりアンテナ部15a,15b及 50 ることができるので、人体頭部の影響によるアンテナ特

性の劣化を抑制することが可能となる。またこの発明の 外部アンテナ装置は、携帯電話端末に直接的に装着され る構造であり、即ち携帯電話端末と外部アンテナ装置と の間に長いケーブルが存在しないため、ケーブルの伝送 損失の発生を抑制することが可能である。

【0047】また本発明の請求項2に係る発明は、アン テナの角度を可変する機能を備えたことにより、携帯電 話端末を横置きした場合でもアンテナを垂直に立てると とができるので、携帯電話端末を単体で横置きした場合 に比べて垂直偏波レベルが改善される。また携帯電話端 10 末を置いた場所が金属板上だったとしも、アンテナと金 属板との距離を大きくとることができるので、携帯電話 端末を単体で金属板上に横置きした場合よりもアンテナ 特性の劣化を抑制することが可能である。

【0048】さらに本発明の請求項3に係る発明は、ア ンテナを柔軟な素材にて構成したことにより、携帯電話 端末で通話する際にアンテナは自重で常に鉛直方向を向 く状態となるので、携帯電話端末を手に持って傾くこと による偏波の不整合によるロスを低減することが可能と なる。

* 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施形態例を示す携帯電話端末 機と外部アンテナ装置の斜視図である。

【図2】同、第2の実施形態例を示す外部アンテナ装置 の側面図で、(A)はアンテナが倒伏している状態、

(B) はアンテナが起立している状態である。

【図3】同、第3の実施形態例を示す外部アンテナ装置 の側面図で、(A)はアンテナが倒伏している状態。

(B) はアンテナが起立している状態である。

【図4】同、第4の実施形態例を示す外部アンテナ装置 の斜視図である。

【図5】携帯電話端末機の斜視図である。

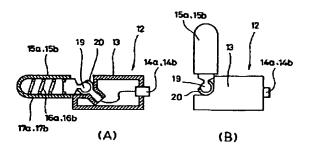
【図6】携帯電話端末機の使用状態の説明図である。 【符号の説明】

1 …. 携帯電話端末機、2 …. 携帯電話端末機本体、3 ····アンテナ、8 a , 8 b ····高周波信号ジャック (高 周波信号端子)、12……外部アンテナ装置、13…… ハウジング、1 4 a , 1 4 b · · · 高周波信号プラグ (接 続端子)、15a, 15b…アンテナ部、16a, 1 *20 6 b · · · · アンテナ

【図1】 [図4] 15a 【図6】 15b 【図2】 15a,15b (A)

(B)

【図3】



【図5】

